

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 202

エントリー学校名： 岐阜県 岐阜市立加納中学校

活動名： 学びをつなぐ生徒の育成 ー単元配列表の作成【図1】

解決すべき課題：【表1】は、本校研究推進委員会における独自の調査結果である。全18の質問項目から3つを抜粋した。肯定的な回答をした生徒は、「1」の項目は86%、「2」の項目は77%、「3」の項目は73%である。同じ教科内においては、学びをつなぐことができている、教科で学んだことを、別の教科、総合的な学習へとつなぐことができていると実感している生徒は少ないことが分かる。

目標・方針：以下の仮説を立て、研究実践を行った。

【仮説】 学びをつなぐ、「教科等横断的な視点に立った資質・能力」を育成する指導を行えば、そのつないだ学びを総合的な学習の時間をはじめとする各教科等で発揮し、「深い学び」を実現することができる。

【教科等横断的な視点に立った資質・能力とは】 本校では、①「教科等固有の資質・能力」と、②「教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力」と定義し、それらを統合的に身に付けられるようにした。②については、本校における目指す生徒像を育成するために必要な資質・能力として、「情報や情報技術を適切に活用する力、論理的に思考する力、伝える力」と定義した。

活動内容： 総合的な学習の時間（ふるさと学習・キャリア学習の二本立て）を軸とした単元配列表の作成

【なぜ総合的な学習の時間を軸としたか】 総合的な学習の時間が様々な場面で得た資質・能力を最も発揮できる場と考えたため。

【作成の目的】 どのように学びをつなぐとよいか、生徒も教師も見通しをもつため

- 単元配列表の内訳 各学年4枚：計12枚 ・「内容」のつながり 各学年1枚：計3枚
- ・「資質・能力」のつながり 各学年3枚：計9枚

活動の成果： 以下は、職員と生徒に「単元配列表の効果」について聞き取り調査を行った結果である。

職員 A：「教科等を越えた職員同士の情報交換の増加が増えた。そして、互いの教科の特質への深い理解につながった。また、自らの担当する教科の特質の客観的な理解につながった。」

生徒 A：「実際に広島に行き、被曝者の方から聞いて、自分が考えたことや社会科で学んだ戦争の歴史的背景、国語で学んだポスターセッションの仕方・美術で学んだデザインや色合いの表現方法などの、様々な学びをつないで、総合的な学習の時間における『平和学習発表会』で、ポスターセッションをすることができた。今後もこうやって、いろいろな学びを発揮して、生活していきたい。』(令和元年度の生徒)

アピールポイント (アイデアや工夫)

- ・ 単元配列表作成にあたり、昨年度本校卒業生4名に、「どのように学びが繋がっていたのか」を尋ね、その聞き取りから作成した「生徒の立場から見た学習内容等のつながり」をたたき台とした【写真1】。
- ・ そのたたき台をもとに、全職員で作成した【写真2】。
- ・ 総合的な学習の時間における学習活動として、「空間軸（岐阜県→東海地方→日本→世界）」の広がり」と「時間軸（過去→現在→未来）」の広がりを踏まえた。
- ・ 「総合的な学習の時間」における探究的な過程と「教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力」とを関連させ、学習内容と育成する資質・能力を具体的に関連付けた【表2】。
- ・ 1～3年生の発達段階を考慮し、資質・能力の系統化を図った【表2】。

本校の目指す生徒像

- ①いつでも、どこでも、誰にでも、私はこう思うと言える生徒
- ②他者と折り合いをつけることができる生徒
- ③自らの感情をコントロールし、見通しをもって活動できる生徒

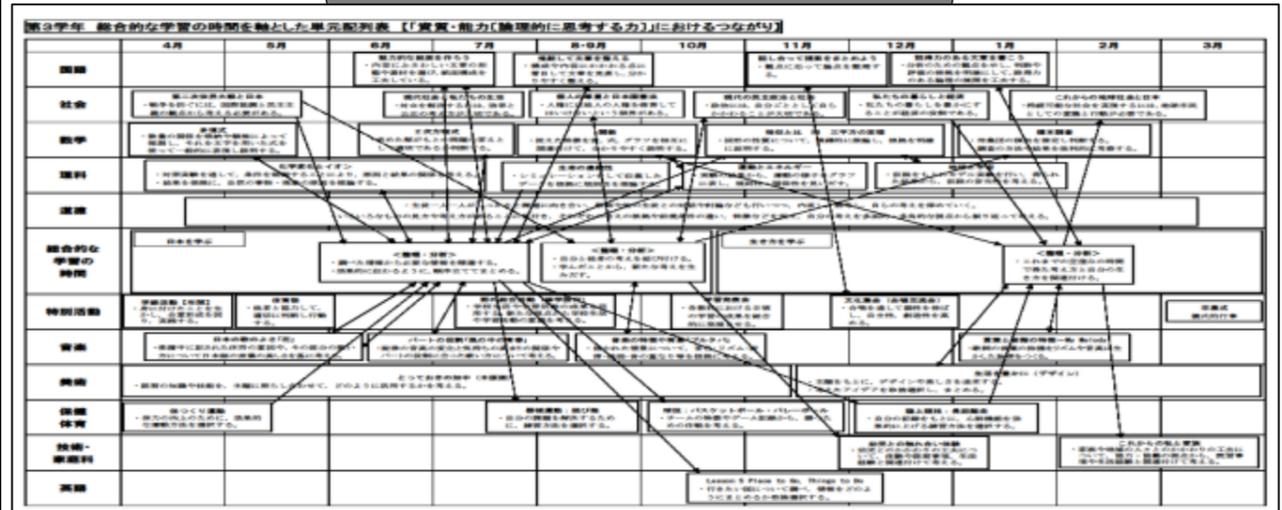


図1 第3学年 単元配列表【内容】におけるつながり



写真1

<研究推進において大切にしていること>

全職員で研究について考えること  
一人の生徒を全職員で育てること



写真2

資質・能力について	1年生	2年生	3年生
○情報や情報技術を適切に活用する力 〔情報活用能力〕 =課題の設定 =情報の収集	・岐阜の情報【見る・聞く・調べる】	・東海の情報【見る・聞く・調べる】	・グローバルな情報・過去の情報・未来の情報【見る・聞く・調べる・現地で確かめる】
○論理的に思考する力 〔問題発見・解決能力〕 =整理・分析	・自分の考えを明確にする。 ・生活経験とつなげる	・自分と他者の考えを結びつける。 ・文献をもとに想像する。	・他者の考えを尊重し、新たな考えを生み出したり、合意を形成したりする。 ・文献をもとに想像する。
○伝える力 〔言語能力〕 =まとめ・表現	・自分の考えを的確に伝える。	・相手の反応を見ながら伝える。	・相手の立場や考えを尊重し、適切に伝える。

表2：「教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力」を育成するための系統性

質問項目	1	2	3	4	5	6
1. 同じ教科内で、過去に学んだ内容を関連付けることができている	3%	3%	8%	28%	41%	17%
2. 教科で学んだことを、別の教科の学習に生かすことができている	2%	5%	16%	23%	27%	27%
3. 教科で学んだことを、総合的な学習の時間に生かすことができている	5%	5%	20%	38%	28%	7%

1：まったくあてはまらない 2：あてはまらない 3：どちらかというあてはまらない 4：どちらかというあてはまる 5：あてはまる 6：とてもよくあてはまる

表1：本校研究推進委員会における調査結果〔令和2年9月実施〕